

久僧地域づくり計画書

みんなが支え合う住みよい久僧を目指す

平成 27 年 7 月

久 僧 自 治 区

も く じ

	ページ
はじめに	・・・ 1
(1) 地区の現状と課題	・・・ 2
(2) 各戸の現状	・・・ 3
(3) 農業の現状と課題	・・・ 5
(4) 地域の活動、現状と課題	・・・ 6
(5) 地区の将来にむけて	・・・ 7
(6) 地域づくり区民アンケート実施計画	・・・ 7
(7) 地域づくり計画、作成の予定	・・・ 8
(8) 地域づくりの継続、及び推進	・・・ 8
(9) 今後、5ヶ年の施設・維持・管理の計画	・・・ 9
(10) 資料 地域づくり区民アンケート集計結果	・・・ 11

は じ め に

当地区は、平成 14 年 4 月 12 日から「久僧自治区」とする地縁団体の法人化に移行し、新たな集落形成の規約、及び内規を設定、「住みよい区政の推進」に取り組んできました。

以後、区民総会の定期開催、役員会体制によって、区民参加の意見や提言、要望が反映し易い区政を目指し、定着化しつつ 10 余年が経過した。

また、福祉活動は、区の事業とともに積極的に推進しているものの、少子高齢化が一層進み、高齢者の一人、二人世帯の増加、空家の増加など、懸念される現状があります。

今後、「みんなが支えあう、住みよい久僧を目指す」を基本とした「助け合う地域、幸せと思える地域づくり」の将来像は何か、お互いに考え、知恵を出し合い、明日に向かう、新たな道を探るために、京丹後市まちづくり事業の「久僧地域づくり計画」を策定する事としました。

平成 27 年 7 月

久 僧 自 治 区

(1) 地区の現状と課題

① 現状

当集落は、海.浜.山.農地.河川等自然環境に囲まれて恵まれ、古くから農耕を中心とする米.養蚕.和牛を基幹農業とし、副業として、男性の冬季の酒造り出稼ぎが、殆どの家庭の状況であった。

戦後復興、経済成長の兆しが始まりつつあった昭和 36 年ころから、京都西陣の帯、ウール等織物業の導入、昭和 40 年代に入り観光民宿が増加した。

冬季の酒造り出稼ぎは、副業の織物に移行した一方で、農業は、米需給関係から国は減反政策農政に転換した。

以後、高度経済成長が進み農業より副業重視、勤め人増加の時代となった。昭和 50 年代から経済が安定成長期に入り、織物.民宿は低迷し、農業は米の減反が一層進み、休耕.耕作放棄地が増加した。

また、少子化、高齢化に加え、家業の後継者は都市流出し次第に減少傾向となった。更に、近年、農家は、農機の過剰投資、生産費の増大、米価の下落などから稲作の生産意欲が低下、農家の減少が益々進む農業情勢となった。

② 課題

この状況下、今後の集落維持の共同活動は、年々困難となる事が懸念される現状から、その対応が課題となっている。

③ 久僧地域、人口の推移 (国勢調査.資料)

● 明治 4 年の人口は 250 人.内男.123 人、女 127 人(但し他村寄留者 別)、と区記録にある。

● 明治 10 年の戸数は本戸 58 戸。人口は男 163 人、女 149 人.総計 312 人(但し他村寄留者含 む)。と区記録にある。

● 昭和 30 年 2 月 1 日.丹後町発足日から各年 10 月 1 日現在 (単位、人)

地区	久僧地区((官舎含む)				下宇川地区				丹後町全地区				
	年	世帯	男	女	計	世帯	男	女	計	世帯	男	女	計
	S30	77	183	189	372	524	1208	1253	2461	2546	5618	6002	11620
	35	75	175	186	361	514	1116	1176	2292	2520	5305	5808	11204
	45	83	165	183	348	472	872	985	1857	2418	4723	5074	9797
	55	93	172	186	358	487	978	998	1843	2377	4386	4667	9688
	60	96	166	179	345	474	859	896	1749	2383	4235	4471	8706
	H2	86	182	196	378	469	935	887	1896	2392	3904	4218	8122

22	81	113	98	211	423	541	537	1078	-	-	-	-
----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	------	---	---	---	---

(昭和30年2月1日.1町4村合併.丹後町発足、平成16年4月1日、丹後6合併.京丹後市発足)

- 上記の表の通り、明治年代と現在では、社会情勢が異なり単純に比較できないが、昭和30年代と50余年経過を比較すると男女とも大きく減少している。また、久僧地区の子どもは(幼児、小学生から高校生まで)少数の現状である。65才以上の高齢化による人口減少傾向、一人暮らし世帯の年々の増加等の現状は、今後の久僧地域づくりに、様々な課題が生じるものと予想される。

(2) 各戸の現状 (屋号は正戸、家業は現業、農業は米作、勤めは戸主,空家は不在) (H27.4)

① 各家の現況

屋号(組.家順)	家業	農業	勤め	65才以上1人世帯	65才以上2人世帯	空家
じろうえもう			○			
さんばつや	理容店					
じんひち	織物					
きちじゅうろう						○
しんべえ		○	○			
おおざかや			○			
げんす						○
もとへいじ	建築	○				
ごさ	吉村荘.季節民宿					○
ぜんべえ	織物関連	○				
ひちろえも	織物	○	○			
ぎへえじ		○	○			
やへい					○	
げたや						○
きゅうえ		○		○		
じざ			○			
さんし	商店				○	
まご		○	○			
よっさぶろう			○			
まさ						
まんね	漁業	○	○			
せいき荘	年間民宿					
へいざ	樹脂等加工	○				
しよえも						○

おけや									
じゅうべえ									○
よそべえ									○
ほてんさが	○	○							
こばしや					○				
しょうひち									○
しんた					○				
さんね		○							
ちょうぎ	○						○		
さへえ					○				
よそざ		○			○				
まんかじ							○		
まったり		○							○
なかや									○
ちょうべえ	設計室	○					○		
きちごろう									
きんし	○						○		
きすけ							○		
ひっちえも									○
きえも		○							
まごいんきょ	○								
まごべえ		○							
すけざ	○	○							
またべえ	○				○				
じんろく		○							
いっちえ	新聞店	○							
すなやま									
松乃家	旅館								
またざ	自転車								
すや		○					○		
かえも			○						
あぶらや		○					○		
さくいち		○							
まつもと		○	○						
さかや		○	○						
いけだや									

てんりきょう 天理教会

ささき



(上記現状から、今後のむらづくり、区内行事のあり方、及び集落維持等の課題を検討)

(3) 農業の現状と課題

① 農業の現状

- 当地区の農業は、水稻主体であり経営は小規模。高齢化で集落内の担い手が少なく、他地区農家に農地(田)を集積、委託しつつある。
平成 26 年の農家の現状は、水稻耕作 1 ヘクタール以上 2 戸、50 アール以上 5 戸、50 アール以下が 13 戸であり、他集落の農家が多面積を耕作し、担い手となっている。
- 専業農家 1 戸が、パイプハウス 2 棟で、みず菜を通年栽培している。
- 水稻耕作者による水路の草刈り、清掃管理等が年々困難傾向の状況にある。
- 平坦部の休耕農地、遊休農地、耕作放棄地、山際の荒廃地の拡大傾向と田畑のサル.イノシシなど有害鳥獣被害の増大等で、生産意欲の減退が顕著の現状にある。

② 農地(田圃)の現状 (平成 26 年 8 月現在)

- 農地(田)の耕地整備地は下記の通り。
 - ①②は昭和 55~56 年計画、昭和 57 年着工 58 年完成。
 - ③④⑤⑥は平成 3 年度計画、平成 4 年度 8 月着工、平成 6 年 3 月完成。

(総面積、概ね 25 ha)

地域名	筆数	登記面積(m ²)
① 池上.池田.鈴若.小谷	122	96,558
② 久僧田圃全域	181	111,831
③ 菖蒲谷	16	12,226
④ 吉野.西	11	13,049
⑤ 吉野.東	9	8,941
⑥ 谷内 桑原	9	7,506
合計	348	250,111

- 国の中山間直接支払い地制度、全対象区域の総面積(登記)、凡そ 25 ha) 地権者(地主)58 名。
- 国の中山間直接支払い地制度、取り組み、実施の経過。

対 策	年度.期間	耕作参加者 (名)	対象面積 (㎡)	団地数
第 1 期	H12~16(5年)	53	250,111	10
第 2 期	H17~21(5年)	53	250,111	10
第 3 期	H23~26(4年)	46	178,937	10

- 国の農地・水・環境保全支援交付金事業の実施。(H24年7月～5カ年間)
(農道、水路の整備と修繕で農業施設を守る事業)

③ 集落農業の課題

- 休耕農地の拡大防止と復旧、耕作放棄地の拡大防止、共同活動の強化。
- 水路、農道の作業と農地周辺の草刈り、法面などの共同活動体制あり方。
- 農作業の受委託、農地の集積化の推進。
- 大農機の共同化で農機の過剰投資抑制の推進、及び担い手の確保。
- 有害鳥獣被害対策の強化、及び自然環境・景観形成配慮の農地管理。
- 集落内の営農組合、2つの水利組合の連携活動強化。
- 区民アンケートの意見、要望、提言等による集落の農業振興等の推進。

(4) 地域の活動、現状と課題

① 自治区活動の現状

- 防災、消防活動は、区内に新鋭装備の自動車が設置されており、3部落による団員編成で、緊急時に備えた日常訓練活動を行っている。
また、団員による区民の消火栓訓練の指導を毎年実施している。
- 区民の区年間行事への参加意識は高いが、開催にあたり容易な参加の対策に配慮している。また、区は老人クラブ、あゆみの会、里づくり久僧の会、子ども会等、団体の活動支援と連携をはかっている。
- 福祉活動として、福祉委員を中心に、健康講演・料理講習・映画鑑賞の開催。また、区民の日帰り遠足等を通じ、相互交流、親睦活動を行っている。
- 環境美化活動として、海浜掃除、幹線道沿線の空き缶、ゴミ拾い、またあゆみの会により幹線道、及び宇川温泉入口に、年間の花をつくり、景観形成活動している。また、里づくり久僧の会は、花菖蒲 15 種類 750 株とアジサイ 20 本を休耕田に栽培し、花見台を設けて5月下旬からの開花時期に、一般通行者に鑑賞してもらっている。
- 下宇川地区公民館の行事へは、積極的な活動、参加を推進している。

② 自治区の活動の課題

区民の人口動態は、少子高齢化が年々進んでいる。今後は区民の安心安全活動として、自然災害時の防災意識、避難訓練の啓発、健康福祉、介護活動の相互扶助、自助共助等の推進を行うなど多様な活動から「久僧に住んで居て幸せ」と思え、実感できる諸活動の対策、推進が課題である。

(5) 地区の将来にむけて

久僧地区の活動は、短期(今年度)、中期(3年後・5年後)、(長期)10年後を見据えることを基本とした区政を推進する。

そのため、現状の改善、改良、見直しを行いつつ、区民参加による将来に向けた計画を進める。

(6) 久僧地域づくり、区民アンケート実施計画

久僧地区は、古くから下宇川の中心地であったが、過去10余年の間、宇川地域の諸公共機関、及び諸団体は合併、撤退・閉鎖等により、施設建物が撤去され、住環境が大きく変貌した。

この現状から、今後の自治活動を更に進めるため、初めての区民アンケートを実施、それを踏まえた[久僧地域づくり計画]を作成する。

◎ 実施要項

- 4月中旬に実施、配布は区民の全世帯各一枚に無記名で実施。4月末に回収、集計して計画書に反映し、結果は5月中に報告を予定。
- 久僧地域づくり計画の区民アンケートは、別途様式で行う。

(7) 地域づくり計画、作成の予定

- 平成27年1月下旬、区長発議、役員会提案、以後、計画を推進。
- 2月中旬、試案の作成。
- 2月下旬、市民局と試案概要の事前協議。
- 3月下旬、役員会で協議、次年度へ継続。
- 区民定期総会で概要説明。

平成 27 年 4 月 12 日、区民定期総に於いて、京丹後市まちづくり事業として「久僧地域づくり計画」を作成するため、区民アンケートを 4 月 20 日頃、各戸 1 部を配布し実施する件。また、歴史文化事業として「久僧むらの記録誌」を作成する件の概要説明も行う。

- 5 月中に区民アンケートを集計してその結果による当面の年次計画の試案を作成し、区民に報告、意見を求める。
- 6 月 28 日区役員会で最終確定。
- 7 月 1 日市長に提出。

(8) 地域づくりの継続、及び推進

① 住みよい環境づくり

- 区内道の夜間照明（外灯）の配置間隔の点検。
- 区内の下排水溝・水路美化のための定期清掃、継続。
- 区内道の交通支障物ヶ所、危険ヶ所、修繕ヶ所の点検。
- 防火、防災、防犯（不審者、訪問販売、詐欺）の啓発。

② 地域環境づくり

- 国道、府道沿い、宇川温泉周辺の花づくりの継続。
- 区内の河川、美化向上。
- 区地域、幹線道沿いの缶・ビン、ゴミ拾い、ポイ捨て防止の啓発継承。

③ 福祉増進づくり

- 区民の健康、医療、介護等、宇川診療所と連携した福祉増進活動。
- 高齢化と自助、共助、相互扶助など推進啓発。

④ 区民の親睦交流づくり

- 区民ふれあい、日帰り遠足の継続。
- 交流活動の企画、実施。

⑤ 区内の団体との連携支援づくり

- 子ども会、老人クラブ、あゆみの会等、活動支援の継続。

⑥ 地域行事の参加促進づくり

- 丹後町地域、及び下宇川公民館、宇川ハウス等行事への参加の促進。

⑦ むらの伝承文化の継承づくり

- 久僧むら伝統行事の継承。

- 久僧むら歴史の伝承。
- ⑧ **農業振興づくり**
 - 国の中山間地域直接支払い事業の継続による農地、水路、農道の維持、保全、耕作放棄地の防止対策。
 - 国の農地、水、環境交付金事業の継続により、農地、水路、農道、環境の維持、保全活動の継続。
 - 営農組合、水利組合農業組織の連携強化、及び集落農業の推進対策。
 - 区内農地等、鳥獣害被害から防止対策。
- ⑨ **海業づくり**
 - 海業者の環境づくりの支援。
- ⑩ **地域観光環境づくり**
 - 久僧の東西.海浜、海岸の美化で海水浴、旅館、民宿、宇川温泉等観光環境の保全.向上。
- ⑪ **区有資産.施設の管理、運用.活用づくり**
 - 区有土地の保全、神社.境内の管理、公民館、子ども家、倉庫など施設の管理修繕、及び有効活用。
- ⑫ **区政運営の現状と改善**
 - 各組編成の現状と再編の検討、
 - 区行事の現状と改善の検討。

(9) **今後、5ヶ年の施設.維持.管理の計画**

(各年度計画は、毎年度見直す。また、状況により年度の変更有)

- ◎ **平成 27 年度**
 - 久僧地域づくり計画の策定、及び区民アンケート実施。(4月)
区民報告。(5月)
 - 久僧地域づくり計画の確定。(7月1日市へ申請)
 - 久僧、歴史文化伝承事業として[久僧むらの記録誌]を作成。
 - (第1年目)区有諸施設の建物、備品維持の点検、修繕。
 - 京丹後市譲渡後の公民館の利活用の検討。

◎ 平成 28 年度

- (第 2 年目)区有施設の公民館、子供の家等の修繕.整備。
- 久僧地域づくり計画の確認、検証。

◎ 平成 29 年度

- (第 3 年目) 区有の施設の建物、備品維持の修繕、整備。
- 久僧地域づくり計画の確認、検証。

◎ 平成 30 年度

- (4 年目) 区有の施設、物品保管庫、収納庫等の修繕.整備。
- 久僧地域づくり計画の確認、検証。

◎ 平成 31 年度

- (第 5 年目)区有施設の公民館、子供の家、物品保管庫、収納庫等の修繕.整備。
- 久僧地域づくり計画の確認、検証。

写真

久僧あゆみの会会員の花壇手入れ
宇川温泉入口 平成 14 年 10 月

(10) 資料

久僧地域まちづくりアンケート集計結果

(注:表中の○印のところも、皆さんから寄せられた意見です。)

1 アンケート実施

- (1) 実施 平成27年4月
- (2) 配布 54件
- (3) 回収 51件(回収率 94.4%)

2 アンケート結果

問1. 性別

1 男性:35	68.6%	2 女性:16	31.4%
---------	-------	---------	-------

※ 配布枚数54枚に対し51枚の回答をいただき回収率は94.4%で、うち男性35枚(68.6%)女性16枚(31.4%)の回答をいただきました。

問2. 年齢

1 20歳代:0		2 30歳代:1	1.9%	3 40歳代: 8	15.6%
4 50歳代:13	25.7%	5 60歳代:8	15.6%	6 70歳代: 14	27.5%
7 80歳代:7	13.7%	8 90歳代:0		9 100歳以上: 0	
計 51人					

※ 年齢では70歳代が27.5%の14枚で最も多く、続いて50歳代25.7%の13枚、60歳代40歳代とも15.6%の各8枚、80歳代13.7%の7枚、30歳代1.9%の1枚の回答をいただき、高齢者中堅各層のバランスで回答を得る事ができました。

問3. 職業

1 農業:	15	29.3%	2 自営業: 3	6.0%
3 会社員・団体職員:	11	21.6%	4 公務員: 0	
5 家事・主婦:	5	9.8%	6 学生: 0	
7 パート・アルバイト: 5		9.8%	8 無職: 11	21.6%
9 その他:(代表役員) 1		1.9%		
計 51人				

※ 職業は農業29.3%の15枚、勤め人21.6%の11枚をはじめ、

それ以外の方々の回答をいただきました。

問4. 家族数(一緒に住んでいる家族数。隠居を含む。)

1 1人: 8	15.7%	2 2人:18	35.4%	3 3人:16	31.4%
4 4人: 5	9.8%	5 5人: 1	1.9%	6 6人: 1	1.9%
7 7人: 2	3.9%				
計 51 人					

※ 家族数は、2人が35.4%の18枚、続いて3人が31.4%の16枚、1人が15.7%の8枚、以下7人3.9%の2枚、5人・6人が各1.9%の1枚の回答をいただきました。

問5. 一緒に住んでいる家族構成

1 自分だけ: 2	4.9%	2 一世代(夫婦のみ):15	36.6%
3 二世世代(親と子):17	41.5%	4 三世世代(親と子と孫):7	17.0%
5 その他: 0			
計 41人			

※ 家族構成は、二世世代41.5%7枚、一世代36.6%15枚、三世世代17%7枚、1人4.9%2枚の回答をいただきました。

問6. 現在のお住まいに何年くらいお住まいですか。

1 5年未満: 0		2 5年以上10年未満:3	5.9%
3 10年以上20年未満:1	1.9%	4 20年以上: 47	92.2%
計 51人			

※ 住まい年数は、20年以上が92.2%の42枚で最も多く、居住年数の長い方の回答をいただきました。

問7. 久僧地区の住み心地はどうですか。

1 住みやすい: 14	27.5%
2 どちらかと言えば住みやすい: 13	25.5%
3 どちらともいえない: 16	31.4%
4 どちらかと言えば住みにくい: 6	11.8%
5 住みにくい: 1	1.9%
6 その他:(横とのつながりが無い)1	1.9%

計 51人

※ 住み心地については、住みやすい(27.5%14枚)と、どちらかと言えば住みやすい(25.5%13枚)を合わせ53%で、半数以上の方からほぼ住み住みやすいとの回答を得ました。

問8 問7で1または2と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

1 生まれたときから住んでいる。(生まれた場所だから) 17	29.8%
2 自然が豊かである: 21	36.9%
3 人情が厚く、人間関係が良い: 9	15.8%
4 生活環境がよく住みやすい: 6	10.5%
5 保険・介護、医療関係が良い: 2	3.5%
6 福祉環境が良い: 0	
7 教育環境が良い: 0	
8 公共交通の便が良い: 0	
9 文化・風習が良い: 2	3.5%
10 その他: 0	
計 57	

※ 住みやすい、又はどちらかと言えば住みやすい理由は、生まれた時から住んでいる場所だからが29.8%17枚、自然が豊かであるからが36.9%21枚で、豊かな自然環境で生まれてから住んでいるが全体の67%38枚の回答をいただきました。続いて人間関係が良い、生活環境が良いが合わせて26.3%の15枚となりました。

問9 問7で4または5と答えられた理由は何ですか。(複数回答可)

1 世間狭く、干渉されやすい人間関係: 4	13.4%
2 教育環境が悪い: 1	3.3%
3 文化施設、娯楽施設・スーパーなどの 買い物できる施設が遠い: 6	20.0%
4 公共交通が悪い: 6	20.0%
5 自然は豊かであるが、有害鳥獣の被害が多い: 2	6.7%
6 教育環境が悪い: 4	13.3%
7 保険・介護・医療環境が悪い: 4	13.3%
8 文化・風習が悪い: 3	10.0%

9 その他:

- 保守、内向き、後ろ向き思考が多く、若い意見を全く取り入れていないため、未来に向けた街づくりが全くなく、働く場所も住む場所も無い。

計 30

※ 住みにくい、どちらかと言えば住みにくい理由は、買い物場所、文化娯楽施設が遠い、公共交通が悪い、医療環境が悪いが合わせて53.3%の16枚、続いて世間せまい、教育環境が悪いとなっています。また、意見もいただきました。

問10. 久僧地区の具体的な課題は何だと思いますか。具体的にご記入ください。(提案もあれば)

- 人の減少。
- 戸数人口が増えること。
- 人口減少対策を講じる努力が不足している。
- 若者の定住
- 近くに就職先が少ないため若者が定着しない。

- 子育て世帯が少なく全体的に活気が無い。
- 若い人達が少ないので何かと不便。
- 区役、農事関係などについて働き盛り世代の負担が大きい。
- 若い人の農業離れが不安、一人一人がもっと出来ることがあると思う。
- 久僧田圃を耕地整理して農業の法人化。

- 農業の担い手が少ないため、集落営農組織づくり又は担い手への土地集積が必要。このためには、久僧田圃の再区画整理が必要。
- 組のバランスを取る。
- 自己中心的な方が多い。
- 一体感がなさすぎる。
- 融合な付き合い。

- 区民が集える芝生の公園の整備、及び桜の植樹。
- より一層の海岸の美化活動推進、及び水洗トイレの整備。
- 区民全体が集まり一つの事に集中する。
- 外部から若い力を呼ぶ。老人向けの事ばかりせず、将来、未来の久僧のために今できる事をする。人も土地も保守的になりすぎず、どんどん解放していくべき。
- この地でみんなで助け合っていこうという気持ちがない事。

※ 久僧地区の具体的な課題を、提案と共に20件いただきました。

問11. 久僧地区に今後も住み続けようと思われますか。

1 今後もずっと住み続けたい:	36	73.5%
2 いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい:	3	6.1%
3 現在、一時的に居住しているため、地域外に転居するかもしれない:	1	2.0%
4 できるなら地域外に転居したい。: 理由:	2	4.0%
5 わからない:	5	10.4%
6 その他: ○ 家があるので住み続けなければならない。 ○ しかたがないので、この地に住んで行きます。	2	4.0%
計 49		

※ 久僧地区に今後も住み続けるのかについては、今後もずっと住み続けたいが73.5%の36枚の回答をいただきました。他にいろいろな感想もいただきました。

問12. あなたにとって久僧地区の自慢は何ですか。(複数回答可)

1 自然環境(農地(田畑)・山・川など:	23	23.2%
2 伝統的な行事:	5	5.1%
3 人間関係:(近所づきあい仲が良い)	7	7.0%
4 暮らしやすさ:	5	5.1%
5 久僧の浜・海:(遠浅の海であった方が良くと思う)	29	29.3%
6 豊住神社:	4	4.0%
7 隣海寺:	4	4.0%
8 宇川温泉: ○ すばらしい温泉だからもっと利用すべきだ) ○ とてもすてきな温泉。宇川リゾートとして売り出せる。	21	21.3%
9 特産品がある《農産物・食べ物等》:	1	1.0%
10 その他(何でも記入ください) ○ 診療所に近い。 ○ 他から転入してこられた方が、区のいろんなことになじみやすく、いろいろな事に参加出来るようにと思います。		

○ 小学校。
計 99

※ 久僧地区の自慢については、久僧の浜、海が最も多く29.3%の29枚
続いて自然環境23.3%の23枚、宇川温泉21.3%の21枚、その他いろいろ回答を
いただきました。

問13. 安心して暮らすには、何を頼りにしますか？

1 家族・親戚:	36	47.4%
2 行政:	12	15.7%
3 地域(久僧地区):	13	17.3%
4 友人・知人:	12	15.7%
5 その他:(警察、お金)	3	3.9%
計 76		

※ 安心して暮らすについての頼りについては、家族・親戚が47.4%の36枚、続いて久
僧地区17.3%の13枚、行政、友人・知人が各15.7%の12枚の回答をいただきま
した。

問14. 地域づくりに関心がありますか

1 はい: ○ 無理にならない程度に。	9	31.0%	2 いいえ:	18	62.1%
3 その他:	2			6.9%	
○ 行政が宇川地区に力を入れずにXバンドレーダーのお金を峰山、大宮方面に 力を入れすぎているのでは。 ○ 今の生活の中でそんな余裕がない。					
計 29					

※ 地域づくりの関心については、関心が無いが62.1%の18枚、あるが
31%の9枚、また、ご意見を2件いただきました。

問15. あなたが望む久僧地域像はなんですか？(複数回答可)

1 自然豊かなふるさとづくり:	26	23.9%
2 文化・歴史が薫るふるさとづくり:	9	8.3%
3 安心できるふるさとづくり: ○ 自然豊かな宇川とそれを味わう事ができる環境。 (外部の人向けにもっと整備すべき。)	31	28.4%

4 農業の盛んなふるさとづくり:	6	5.5%
5 みんなが主役のふるさとづくり:	13	11.9%
6 みんなで楽しむふるさとづくり:	24	22.0%
7 その他: ○ 宇川の中心として開かれたふるさと。		
計 109		

※ 久僧地域像について望むことについては、安心できるふるさとづくりが28.4%に31枚、自然豊かなふるさとづくりが23.9%の26枚で、他の回答もいただきました。

問16. あなたが住んでいる久僧を住みよい地域にするためには、今後何が重要だと思われますか？(複数回答可)

1 農業振興:	13	8.7%
2 福祉・介護・医療の充実:	33	22.3%
3 教育・子育ての充実:	15	10.2%
4 文化の振興:	5	3.4%
5 他地域の人たちの久僧への村づくり参加:	11	7.5%
6 生活基盤(道路・水路・上下水道・情報通信など)の整備:	22	14.8%
7 防災対策の充実:	11	7.5%
8 子供・青年・婦人・高齢者の集まり:	12	8.1%
9 自然・環境等の保全や整備:	10	6.8%
10 区民交流のイベントや祭りの開催:	16	10.7%
11 その他: ○ 若い意見を取り入れる。 ○ 吉野川の清浄化。(下水整備含む。) ○ 外部の人の積極的な発信で、宇川経済を豊かにする仕組みづくりと受け皿づくり。		
計 148		

※ 住みよい久僧地域にするため、今後重要なことについては、福祉・介護・医療が22.3%33枚で最も多く、その他各項目についての回答及びご意見を3件いただきました。

問17. 久僧を住みよい地域にするためには、どのような活動を行ったら

よいと思いますか？(複数回答可)

1 助け合いなど地域福祉活動:	23	20.9%
2 防犯活動:	10	9.2%
3 環境整備・清掃美化:	19	17.1%
4 農業振興(生活指導等・農作物販売強化):	13	11.7%
5 運動・文化・スポーツ大会などのレクリエーション:	16	14.5%
6 子供・お年寄りへの支援:	17	15.5%
7 地域の歴史・文化等の学習:	7	6.5%
8 広報などの情報提供:	5	4.6%
9 その他:	0	
計 110		

※ 久僧地域を住みよくする活動については、助け合い福祉活動20.9%の23枚、環境整備・清掃美化が17.1%の19枚、他各項目の回答をいただきました。

問18. あなたが住み良い地域にするための取組に参加するとしたら何に参加しますか？(複数回答可)

1 防災:	6	5.5%	2 防犯:	9	8.3%
3 学習:	22	20.0%	4 子育て支援:	6	5.5%
5 高齢者支援:	15	13.9%	6 伝統文化の伝承:	0	
7 地域・世代間の交流:	14			12.9%	
8 美化・環境自然保護:	9			8.3%	
9 地域サロン(集いの場)づくり:	13			11.9%	
10 特産品づくり:	6			5.5%	
11 にぎわいづくり(まつり等):	8			7.3%	
12 その他:(今の生活では参加が難しい。)	1			0.9%	
計 109					

※ 住みよい地域にするための、取り組みの参加については、学習が20%22枚で最も多く、高齢者支援13.9%15枚、地域世代間交流12.9%14枚、他各項目の回答をいただきました。

問19. 久僧地域の助け合いで必要なことは何ですか？(複数回答可)

1 子育て・子供の見守り:	7	8.5%
2 災害時の避難救出:	39	47.6%

3 安否確認(高齢者・独居者等):	10	11.9%
4 不審者の警戒:	26	32.0%
5 その他: ○ 年配の方が年だから若い人に任せると言われるが、 出来る事は積極的に協力してほしい。		
計 82		

※ 久僧地域の助け合いの必要については、災害時の避難救出47.6%の39枚、不審者の警戒32%の26枚、安否確認11.9%の10枚、他項目の回答及びご意見1件をいただきました。

問20. 久僧公民館の活用に期待することは何ですか？(複数回答可)

1 情報収集・提供:	5	3.9%	2 相談:	14	11.0%
3 会議・打ち合わせ:	3	2.4%	4 住民交流:	31	24.6%
5 共同作業:	3	2.4%	6 展示:	3	2.4%
7 活動: (練習・発表など)	6	4.8%	8 憩いの場: (喫茶など)	34	27.0%
9 料理教室:	3	2.4%	10 講演・講習会:	12	9.5%
11 映画:	10	8.0%			
12 その他: ○ 民宿 ○ 宇川の中心として発信できる施設として整備。 ○ 外部から若者が来やすい仕組みと雰囲気づくり。 (宇川温泉とコラボした宿泊、合宿など。)					2 1.6%
計 126					

※ 久僧公民館の活用の期待については、憩いの場27%の34枚、続いて住民交流24.6%31枚、他各項目の回答及びご意見3件いただきました。

問21. 久僧公民館で備え付けてほしい備品は何ですか？(複数回答可)

1 カラオケ設備:	1	2.3%	2 障害者トイレ:	14	32.3%
3 バリアフリー化:	9	20.7%	4 トイレ浄化槽:	19	44.7%
5 その他: ○ 二階のトイレ ○ 洋式トイレ ○ エアコン					

計 43

※ 久僧公民館に備え付けてほしい備品は、トイレ浄化槽44.7%の19枚、障害者用トイレ32.3%の14枚、バリアフリー化20.7%の9枚、他の項目及びご意見3件回答いただきました。

問22. 久僧公民館の活用は、どのような曜日・時間を希望されますか？

1 日中:	6	12.4%	2 夜間:	2	4.2%
3 土・日・祝日:	8	16.2%	4 平日:	5	10.2%
5 特になし:	28	57.0%	6 その他:	0	
計 49					

※ 久僧公民館の活用曜日・時間については、特になしが57%の28枚で最も多く、続いて土・日・祝日、日中、平日、夜間の順との回答をいただきました。

問23. 最後に、久僧地区で今不安に感じていること、生活で困っていることがありましたらご意見をお書き下さい。

- 人の減少。
- 世帯数の減→空き家の増加。
- 人口が年々減少、今後の村のあり方が不安、空き屋の増加。
- 組の見直しをする。-----2件
- 区民全員が平等に責務を負う。

- 若い人がもっと久僧を良くするため主役になってほしい。
今のままでは時間切れになるのがこわい。
- 働き盛りの世代の負担が重い社会は変わっているというのに！
- 宇川診療所を続ける事。
- 今までは宇川診療所に入院できたが、これが駄目になり末が案じられる。
- 教育、福祉、医療について不安あり。
- ①病院の維持。 ②外食する場所。 ③交通機関の充実。
- 区内を夜歩く際大変暗い場所があるので、外灯のより一層の整備を強く望みます。
- 尼坂のデコボコ道に電灯の価値なしです。
- ひとり暮らしで生活や健康状態に不安を感じる。
- 生活にしても区にしてもこの先良くなるとは思えない。
- 久僧レスキュー隊の活動（連絡事項）強化を図る事が必要だ。
- 子供の遊ぶ場所がない。
- 宇川が廃村等にならない様、次の次の世代に向けた取り組みが今や必要と思う。

このままでは、誰もここに住まなくなる、学校も無くなる、子供もいなくなる。

- 旧宇川保育所が現在「宇川アクティブライフハウス」運営となりました。
宇川地区の振興発展に寄与する事を目的としています。
文化祭や色々な催し物があり、大勢の人達が集まると思います。
そこで久僧区として、旧墓地を整備してモミジの木やサクラの木を植樹しては如何でしょうか。そして、区内老若男女一同に集まって、春はサクラ見物、秋は紅葉狩り等楽しく暮らす事如何でしょうか。
- 子供が少ない、だから学校が無くなる、だから家から出た子供が帰ってこない、だから人口が減る。だから-----
- ※ 久僧地区での不安、生活にこまっていることのご意見を20件お聞かせいただきました。